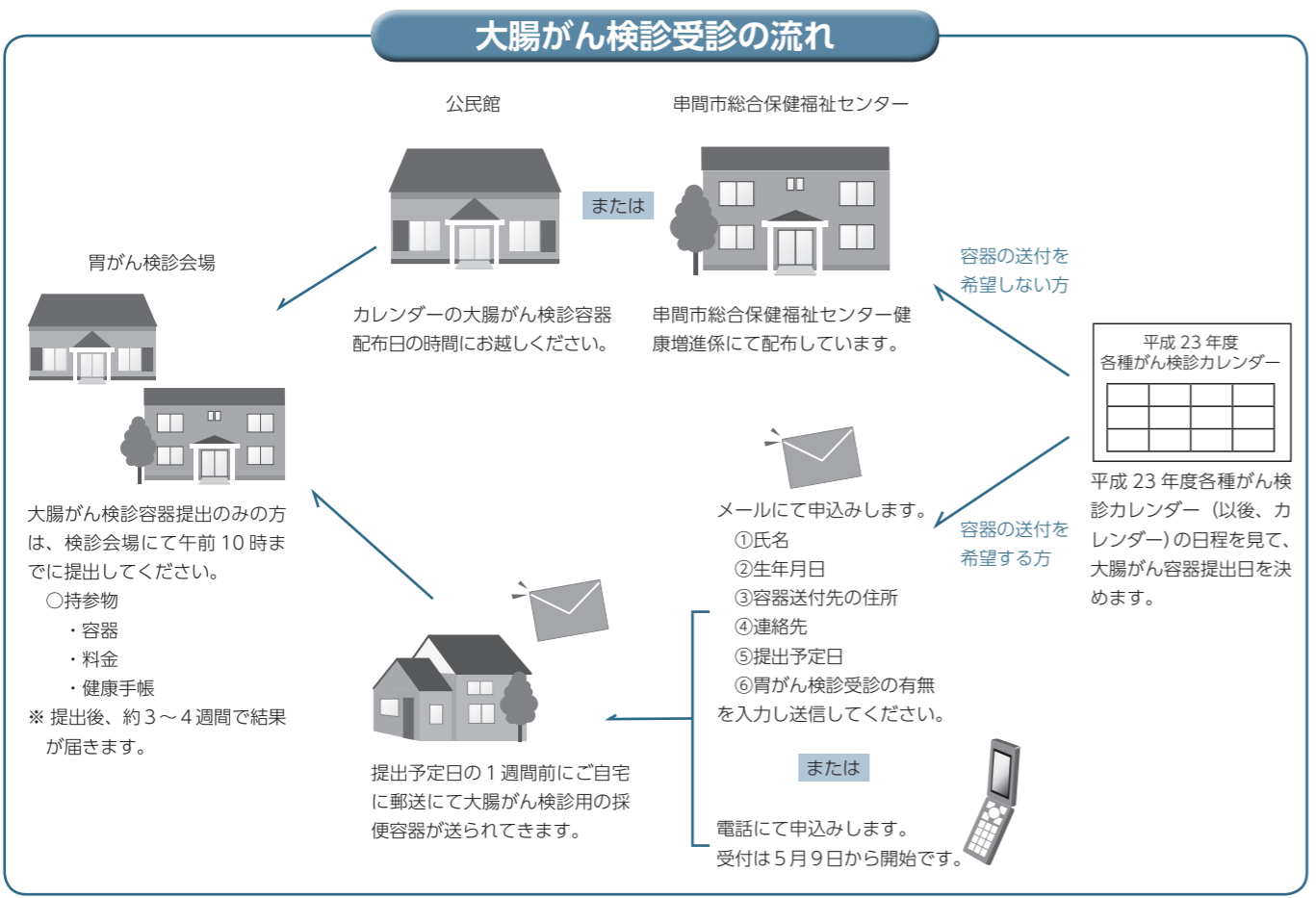


大腸がん検診容器 お届けサービス開始!

大腸がん検診の実施方法が、各会場での配布から希望者への容器郵送に変わります。この機会に大腸がん検診を受診しましょう。



現在、申間市では採便容器を使い、便の表面に付着する大腸からの出血を調べる大腸がん検診を行っています。これまでは大腸がん検診容器配布日を設け、公民館や総合保健福祉センターの窓口にて容器配布を行ってきましたが、今年度からは希望者への容器郵送になりました。

現代では、大腸がんは不治の病ではありません。早期に発見できれば、90%以上の方が治るんです。大腸がん検診は、便を採取し市に提出するというとても簡単な方法で大腸がんを早期発見できます。容器の提出は、本人でなくてもご家族でも可能です。

簡単に受診できる大腸がん検診受診の方法は左図の検診の流れ

れで確認ください。

- ◎検診対象者 40歳以上
- ◎検診負担料金
 - ・40~69歳 800円
 - ・70歳以上 無料
- ※生活保護世帯は生活保護証明書、非課税世帯は全世帯非課税証明書の提示で無料となります。

大腸がん検診無料クーポン券始まります

平成22年度に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった方には、大腸がん検診無料クーポン券を送付します。6月初旬にお届けする無料クーポン券を、大腸がん検診容器提出時に持参し提示すると、無料で大腸がん検診が受診できます。簡単に無料で受診できるこの機会にぜひご利用

ください!

厄年の男性へ 胃がん検診をお薦めします

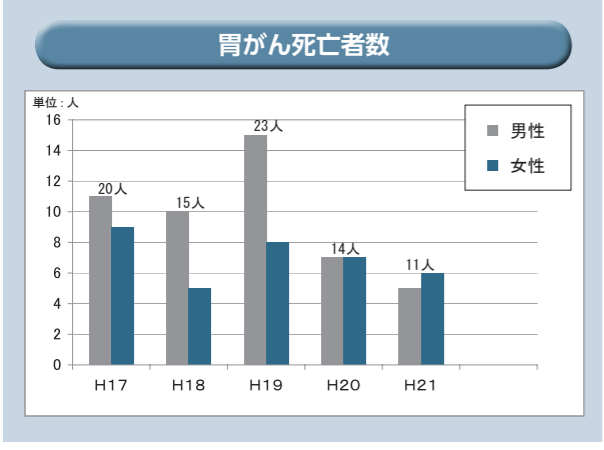
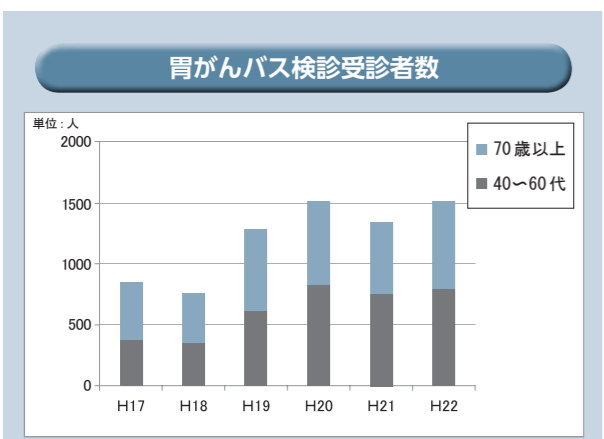
厄年とは、数え年で男性が25歳、42歳、61歳。女性が19歳、33歳、37歳、61歳となる年齢を表す言葉。社会的にも大きく環境が変わる時期であり、年齢的にも体の変調が起こりやすい時期とされています。厄年の方はこの機会にまず「胃がんバス検診」で体をチェックしてみてくださいでしょうか。

そもそも、わたしたちの体には毎日約5、000個のがん細胞が出来ては免疫機能により消滅しています。ところが加齢やストレス、不規則な生活習慣などが引き金となり、免疫機能が

うまく働かないことなどが原因でがんが発生します。特に、現代では3人に1人ががんにより亡くなり、一生のうちになんにかかる可能性は、男性は2人に1人、女性は3人に1人と、いつだれにがんが発生してもおかしくない、国民病といえる病気です。自分の体に潜んでいるがんを見つけるため、がん検診の受診をお勧めします。

40代50代男性のアンケートでは、「面倒くさい」という意見が多くありました。

検診と聞くと、長時間待たなければならぬと感じますが、完全予約制で、検診時間も約5分です。時間がかかりませんが、また休日検診もあります。都合のよい日を選んで受診すること



ができますので、多くの方の受診をお待ちしています。特に男性は胃がんにかかりやすいことから、男性には強く受診をお勧めしています。

5月の自治会長文書と一緒に配布している、平成23年度各種がん検診カレンダーをもとに、検診を受けるようにしましょう。※個別の検診日程は送付しましたので注意してください。

胃がんによる死亡者数が減少しました

がんによる死亡の中でも、当市では胃がんによる死亡者が第1位。このことから胃がんによる死亡者を減らすため、胃がんバス受診者向上を目指したキャ

これからも、胃がんによる死亡者が減るようにキャンペーンを行っています。キャンペーンではいろんな場所で普及啓発を行っていますので、皆さんの受診をお待ちしています。また、胃がん検診は毎年受診することが大切。まずは電話予約を。お問い合わせ先 福祉保健課健康増進係 ☎72-0333(内線505) Eメールアドレス zoushin@city.kushima.lg.jp